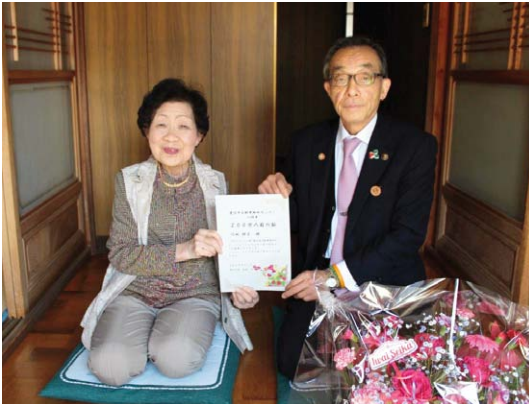


多くの人に親しまれて

—高齢者福祉センター来館者200万人達成—
 (市社会福祉協議会)



温泉を活用した、高齢者等の憩いの場として、長年親しまれてきた市高齢者福祉センター(酒野谷)では、2月14日に来館者200万人を達成しました。

3月中に開催される予定だった記念セレモニーが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、4月9日に、市長が川田静子さんをはじめとする対象者を訪問し、記念品を贈呈しました。

いよいよ本格的に 新庁舎整備スタート!

—新庁舎起工式—

4月10日、市役所の旧南側駐車場敷地内で、新庁舎の「起工式」が行われました。

新型コロナウイルス感染症防止のため、式は当初の予定より規模を縮小して実施。市のほか、工事を担当する大成建設(株)関東支店、設計を行った(株)佐藤総合計画が出席しました。

全員がマスクをしておこなわれましたが、晴天に恵まれ、新庁舎整備の始まりを祝福するかのような春めいた陽気の中での起工式となりました。



災害現場での活躍を期待

—消防自動車配備式—

4月13日、新たな消防ポンプ車が栗野分署に配備され、市消防本部で配備式が行われました。同分署での車両更新は26年ぶりとなります。

配備式で安全を祈願した後、車両や搭載する機材の点検を実施。車両には1,500リットルの水槽と、水と薬剤を混合し消火用の泡を発生させる「圧縮空気泡消火装置」が搭載されており、火災等、近年多様化する災害現場での活躍が期待されます。





感染防止への活用を

—京浜精密工業マスク寄贈—

4月9日、さつき町に工場がある京浜精密工業(株)から、本市にマスク1万枚が寄贈されました。

マスクは、会社が災害時用に備蓄していたもので、駒場社長は、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため役立ててほしい」と力を込めて話しました。これに対し佐藤市長は、「高齢者施設や小中学校などにおいて優先的に活用していきたい」と答え、感謝状を贈りました。

各界一丸となって対応を考える

—新型インフルエンザ等対策有識者会議—

4月15日、菊沢コミュニティセンターで「市新型インフルエンザ等対策有識者会議」が行われました。

この組織は、平成25年度に、新型インフルエンザ等の感染症への対策について、医療・介護・保育・教育などの各界の有識者と市が意見交換を行うために設置されたもの。

新型コロナウイルス感染症の発生を受けて開催され、各界における現場の状況報告や、対応についての議論、市への要望などが行われました。



一緒におうちで楽しく学ぼう!

—休校児童向け家庭学習動画を作成—

市では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休校となっている市内の子どものための家庭学習を支援するため、市教育委員会職員と教員による各種教科等の家庭学習用動画を作成しました。

その内容は、外国語・英語、体育、国語、算数・数学等の教科を中心に指導主事たちが出演し、家庭でできる学習方法などを指導するというもの。鹿沼ケーブルテレビで放送したほか、市の公式YouTubeチャンネルでも公開し、家庭で過ごす子どもたちに楽しい学習の時間を届けました。

